



2019年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年7月16日

上場会社名 株式会社 ブロンコピリー

上場取引所 東名

コード番号 3091 URL <http://www.bronco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹市 克弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 古田 光浩

TEL 052-856-4129

四半期報告書提出予定日 2019年7月25日

配当支払開始予定日

2019年9月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	11,145	0.1	1,168	17.4	1,202	17.3	773	20.1
2018年12月期第2四半期	11,155	18.0	1,415	30.8	1,453	30.1	968	26.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	51.34	51.26
2018年12月期第2四半期	64.25	64.17

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第2四半期	20,382	17,379	85.0	1,149.64
2018年12月期	19,873	16,761	84.0	1,108.28

(参考)自己資本 2019年12月期第2四半期 17,334百万円 2018年12月期 16,701百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		12.00		12.00	24.00
2019年12月期		12.00			
2019年12月期(予想)				12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	4.8	2,430	6.4	2,500	6.3	1,620	9.4	107.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	15,079,000 株	2018年12月期	15,070,800 株
期末自己株式数	2019年12月期2Q	869 株	2018年12月期	865 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	15,072,920 株	2018年12月期2Q	15,069,975 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く等穏やかな回復基調で推移いたしました。一方、米中通商問題の動向等海外経済の不確実性による先行きの不透明もあり、個人消費も力強さに欠ける状況が続いております。

こうした状況下、当社のコンセプトである「ご馳走レストラン」の実現を目指し、当期は「ステーキハウス・ブロンコビリー」の専門店としての商品力強化とブランド力の向上に取り組んでおります。

商品面では、原点回帰を掲げてステーキの専門店を目指し、ブロンコビリーでしか味わえないステーキを提供することに継続的に取り組みました。2月から「炭焼きサーロインステーキ」を導入すると同時に、地域限定商品として千葉地区に「炭焼きカイノミステーキ」、静岡地区に「炭焼き黒毛和牛ステーキ」を試験導入し、ステーキの訴求力を高めながら、昨年から19年ぶりに輸入解禁になるウルグアイ産ビーフの導入を準備して、5月に「ウルグアイ産超厚切り熟成サーロインステーキ」を日本の大手チェーンレストランとしていち早くメニュー化して、ヘルシーな赤身肉のジューシーな味わいが溢れるステーキとご好評をいただいております。

高付加価値商品を継続的に導入する一方で、ランチタイムでは平日限定メニューでご好評いただいております「炭焼きハラミステーキ」を3月より土日祝日のランチタイムにも拡大して展開しております。

また、5月のメニュー改訂では、ステーキ・ハンバーグのメイン料理に大かまどごはん+コーンスープ+サラダバーを付けたセット価格で提供しておりましたディナーメニューを、従来のセット内容の「ブロンコセット」とサラダバーのみの「新鮮サラダバーセット」の2つからお選びいただけるように変更いたしました。

「キッズクラブ」等のモバイル販促策で会員獲得を行うとともに、認知度向上を図るべくPR機能を強化、新製品やサラダバーの改訂等の情報をタイムリーに発信し、テレビやWEBメディアへの露出強化を図ってまいりました。

店舗面では、収益性を重点において出店及び退店を検討しており、同期間では、鶴ヶ島インター店(埼玉県)、奈良押熊店(奈良県)の2店舗を出店、一方で沼津香貫店(静岡県)、真正店(岐阜県)の2店舗を退店し、店舗数は135店舗(2019年6月30日現在)となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は111億45百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益11億68百万円(同17.4%減)、経常利益12億2百万円(同17.3%減)、四半期純利益7億73百万円(同20.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は203億82百万円(前事業年度末198億73百万円)となり5億9百万円増加いたしました。その主な要因は、流動資産の現金及び預金が5億80百万円減少した一方、投資その他の資産の長期預金が10億円増加したこと等によります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は30億3百万円(前事業年度末31億11百万円)となり1億7百万円減少いたしました。その主な要因は、未払金が79百万円増加した一方、買掛金が1億35百万円及び未払法人税等が88百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は173億79百万円(前事業年度末167億61百万円)となり6億17百万円増加し、自己資本比率は85.0%(前事業年度末84.0%)となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上と配当金の支払い等により利益剰余金が5億93百万円増加したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、53億10百万円(前事業年度末59億9百万円)となり、5億99百万円減少いたしました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は10億78百万円(前年同期比40.6%減)となりました。これは主に、税引前四半期純利益を11億61百万円及び減価償却費を4億55百万円計上した一方、仕入債務が1億35百万円減少及び法人税等を4億75百万円支払ったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は14億96百万円(前年同期比56.7%増)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が10億18百万円及び有形固定資産の取得による支出が4億70百万円あったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は1億80百万円(前年同期比3.1%減)となりました。これは主に、配当金の支払額が1億80百万円あったこと等によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年4月16日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,911,716	6,330,736
売掛金	259,457	279,303
商品及び製品	113,183	64,805
原材料及び貯蔵品	527,240	605,944
その他	227,353	272,143
流動資産合計	8,038,950	7,552,932
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,721,678	6,714,191
構築物(純額)	742,176	730,934
工具、器具及び備品(純額)	797,513	748,761
土地	1,627,348	1,683,862
その他(純額)	290,069	297,333
有形固定資産合計	10,178,786	10,175,084
無形固定資産	153,389	151,125
投資その他の資産		
長期預金	-	1,000,000
差入保証金	1,071,471	1,077,679
その他	430,435	426,084
投資その他の資産合計	1,501,906	2,503,764
固定資産合計	11,834,082	12,829,974
資産合計	19,873,032	20,382,907
負債の部		
流動負債		
買掛金	599,420	463,707
短期借入金	103,152	110,136
リース債務	15,150	15,150
未払金	896,977	976,802
未払法人税等	531,755	442,985
賞与引当金	41,658	46,180
販売促進引当金	20,513	20,581
その他	326,874	349,121
流動負債合計	2,535,502	2,424,666
固定負債		
リース債務	208,493	200,918
資産除去債務	358,352	364,351
その他	8,778	13,568
固定負債合計	575,623	578,837
負債合計	3,111,125	3,003,503

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,199,210	2,210,667
資本剰余金	2,109,210	2,120,664
利益剰余金	12,399,678	12,992,715
自己株式	△1,444	△1,455
株主資本合計	16,706,654	17,322,591
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,911	11,901
評価・換算差額等合計	△4,911	11,901
新株予約権	60,163	44,911
純資産合計	16,761,907	17,379,403
負債純資産合計	19,873,032	20,382,907

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	11,155,379	11,145,262
売上原価	3,027,953	3,052,070
売上総利益	8,127,425	8,093,192
販売費及び一般管理費	6,712,157	6,924,195
営業利益	1,415,267	1,168,997
営業外収益		
受取利息	1,519	1,484
受取配当金	1,139	1,145
受取賃貸料	20,104	8,857
協賛金収入	31,372	33,631
その他	2,077	5,631
営業外収益合計	56,213	50,750
営業外費用		
支払利息	198	217
賃貸費用	15,269	8,061
その他	2,830	9,187
営業外費用合計	18,297	17,466
経常利益	1,453,183	1,202,281
特別損失		
固定資産除売却損	7,980	1,793
減損損失	3,209	31,379
投資有価証券評価損	-	8,096
特別損失合計	11,190	41,269
税引前四半期純利益	1,441,992	1,161,011
法人税、住民税及び事業税	486,652	381,712
法人税等調整額	△12,865	5,422
法人税等合計	473,786	387,134
四半期純利益	968,205	773,876

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,441,992	1,161,011
減価償却費	440,768	455,446
減損損失	3,209	31,379
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,823	4,522
販売促進引当金の増減額(△は減少)	△6	68
受取利息及び受取配当金	△2,658	△2,629
支払利息	198	217
固定資産除売却損益(△は益)	7,980	1,793
投資有価証券評価損益(△は益)	-	8,096
たな卸資産の増減額(△は増加)	86,954	△30,325
売上債権の増減額(△は増加)	△9,478	△19,846
長期前払費用の増減額(△は増加)	537	7,749
仕入債務の増減額(△は減少)	△79,966	△135,712
未払金の増減額(△は減少)	201,958	80,305
未払消費税等の増減額(△は減少)	94,173	20,831
その他	△70,022	△31,319
小計	2,118,465	1,551,587
利息及び配当金の受取額	2,658	2,629
利息の支払額	△197	△220
法人税等の支払額	△305,559	△475,748
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,815,366	1,078,248
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△18,028	△1,018,026
有形固定資産の取得による支出	△898,559	△470,616
有形固定資産の除却による支出	△1,766	△880
無形固定資産の取得による支出	△3,514	△5,473
投資有価証券の取得による支出	-	△104
差入保証金の差入による支出	△23,894	△10,402
差入保証金の回収による収入	888	11,279
建設協力金の支払による支出	△18,000	△18,000
建設協力金の回収による収入	12,259	10,914
預り保証金の返還による支出	△4,583	△210
預り保証金の受入による収入	-	5,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△955,199	△1,496,520
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,682	6,984
リース債務の返済による支出	△6,831	△7,575
自己株式の取得による支出	△392	△10
配当金の支払額	△180,892	△180,140
その他	-	8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△186,434	△180,734
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	673,732	△599,006
現金及び現金同等物の期首残高	5,259,656	5,909,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,933,388	5,310,360

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。